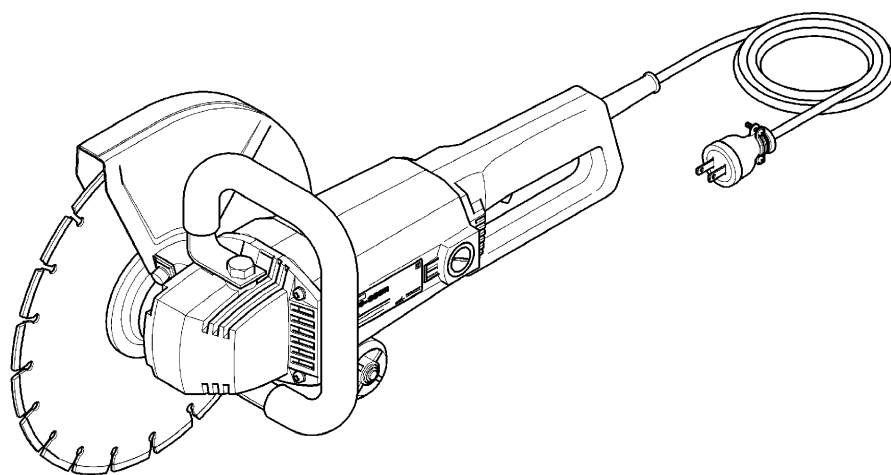




ダイヤモンドハンドカッター CHC-305R

取扱説明書



- ◎ このたびはお買い上げいただき、ありがとうございました。
- ◎ ご使用前に、この「取扱説明書」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく安全に使用してください。
- ◎ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管してください。

CONSEC CORPORATION

注意文の「▲警告」、「△注意」、「ポイント」の意味について

ご使用上の注意事項は「▲警告」、「△注意」と「ポイント」に区分していますが、それぞれ次の意味を現します。

▲警告：誤った取扱いをした時に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意：誤った取扱いをした時に、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

ポイント：製品の据付け、使用方法、メンテナンスに関する重要な事項。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

本文中では、「ダイヤモンドハンドカッター」のことを「ハンドカッター」、「ダイヤモンドブレード」のことを「ブレード」と記述しています。

目次

1. 警告 および 注意	
【1】 電動工具の安全上のご注意	2
【2】 ハンドカッターの使用上のご注意	5
2. 各部の名称	7
3. 仕様	7
4. 標準付属品	8
5. 用途	8
6. オプション品（別売）	8
7. 使用方法	
【1】 切り方	9
【2】 ブレードの取付け・取りはずし	9
【3】 車輪の取付け・取りはずし	10
【4】 集じん作業の方法	11
8. 点検・保守・修理	
【1】 点検	12
【2】 定期点検	12
【3】 保守	13
【4】 修理について	13
9. 製品の保管	13

1. 警告 および 注意

- ◎ 火災・感電・けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「電動工具の安全上のご注意」「ハンドカッターの使用上のご注意」「ブレードの使用上のご注意」を必ず守ってください。
- ◎ ご使用前に、この「警告および注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◎ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

【1】 電動工具の安全上のご注意

⚠ 警告

1. 指定された用途以外には使用しないでください。
2. 作業員以外は施工場所へ近づけないでください。
 - ◎ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
3. 施工場所の周囲状況も考慮してください。
 - ◎ 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - ◎ 施工場所は十分明るくしてください。
 - ◎ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
 - ◎ ちらかった施工場所は、事故の原因となります。
4. きちんとした服装で作業してください。
 - ◎ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
 - ◎ ゴム手袋と滑り止めのついた履物を着用してください。
 - ◎ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
5. 保護めがねを使用してください。
 - ◎ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
6. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ◎ 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。
7. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ◎ 電動工具を使用する場合は、取扱方法・作業の仕方・周りの状況など十分に注意して慎重に作業してください。
 - ◎ 回転物には、手や身体を近づけないでください。巻き込まれたり、けがをする恐れがあり危険です。
 - ◎ 可動部分や接続部分などに、手や足を挟まないように注意してください。
 - ◎ 疲れている場合は、使用しないでください。
8. 感電に注意してください。
 - ◎ 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。
 - ◎ 漏電遮断器の設置してある電源を使用してください。

⚠ 警告

8. 感電に注意してください。
 - ◎ 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。
 - ◎ 漏電遮断器の設置してある電源を使用してください。
9. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ◎ コードを持って電動工具を運ばないでください。
 - ◎ コードを引張ってコンセントから抜かないでください。
 - ◎ コードを熱・油・角のとがった所に近づけないでください。
10. 指定の付属品やオプション品を使用してください。
 - ◎ 本取扱説明書およびコンセックのカタログに記載されている付属品やオプション品以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
11. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ◎ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動し、所定機能を発揮するか確認してください。
 - ◎ 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ◎ 損傷・故障した部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
 - ◎ 取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または、コンセック各営業所に修理を依頼してください。
 - ◎ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
 - ◎ スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または、コンセック各営業所で修理を行ってください。
12. 次の場合は電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
 - ◎ 使用しない、または、修理する場合。
 - ◎ 刃物などの付属品を交換する場合。
 - ◎ その他危険が予想される場合。
13. 調節キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ◎ 電源を入れる前に、点検・調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
14. 電動工具は注意深く手入れをしてください。
 - ◎ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ◎ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
 - ◎ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または、コンセック各営業所に修理を依頼してください。
 - ◎ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
15. 使用しない場合はきちんと保管してください。
 - ◎ 乾燥した場所で、お子様の手の届かない安全な所または、錠のかかる所に保管してください。
16. 不意な始動は避けてください。
 - ◎ 電源につないだ状態で運ばないでください。
 - ◎ プラグを電源に差込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。

▲ 警告

17. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ◎ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたは、キャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
18. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ◎ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
19. 電動工具の修理は専門店で依頼してください。
 - ◎ 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
 - ◎ 修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。
 - ◎ 修理は、必ずお買い求めの販売店または、コンセック各営業所にお申し付けください。

【2】 ハンドカッターの使用上のご注意

▲ 警告

1. 漏電遮断器の設置してある電源を使用してください。
2. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
◎ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
3. 電線管、ガス管、水道管などの埋設物に注意してください。
◎ 電気が流れている電線や電線管などに接触すると感電する恐れがあります。
◎ 壁・床などの切断を行う場合は、埋設物のチェックを十分に行ってください。
4. ブレードカバーをはずして使用しないでください。
◎ 切り粉の飛散防止・ブレードの破損によるけがの防止、及び巻き込まれ防止のためにも必ずブレードカバーは使用してください。
5. 本体は確実に保持して、作業してください。
◎ 本体は両手で確実に保持してお使いください。保持が確実でないと作業時の反力で振り回される危険があります。
6. 回転させたままで放置しないでください。
◎ 両手で本体を保持していないときは回転させないでください。
◎ ブレードの回転中に、床などの上に放置することは大変危険です。
7. 回転中のブレードには絶対触れないでください。
◎ 回転中のブレードには、手や身体を近づけないでください。巻き込まれたり、けがをする恐れがあり危険です。
8. 異常時にはただちにスイッチを切ってください。
◎ 使用中にブレードが止まったり異音を発したときは、ただちにスイッチを切ってください。
9. 回転中にはロックピンを押さないでください。
◎ 使用中にはロックピンを押さないでください。また、ロックピンを押したままでスイッチを入れないでください。
10. 作業中には周囲の人にも注意してください。
◎ 万一コンクリートなどの破片が飛散した場合には危険ですので、作業中はまわりの人の安全確保にも十分注意をはらってください。
11. 電源コードを切断しないように注意してください。
◎ 感電する恐れがあります。
12. 作業中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
◎ 回転部に巻き込まれ、大変危険です。
13. 高所での作業は、関係法令に従って作業してください。
◎ 安全な足場を確保して、足場より1.5m以上での作業はしないでください。
◎ 高所での作業の場合は、安全で安定した場所に置くようにしてください。
◎ 高所での作業の場合は、施工場所の下に人を入れないようにしてください。

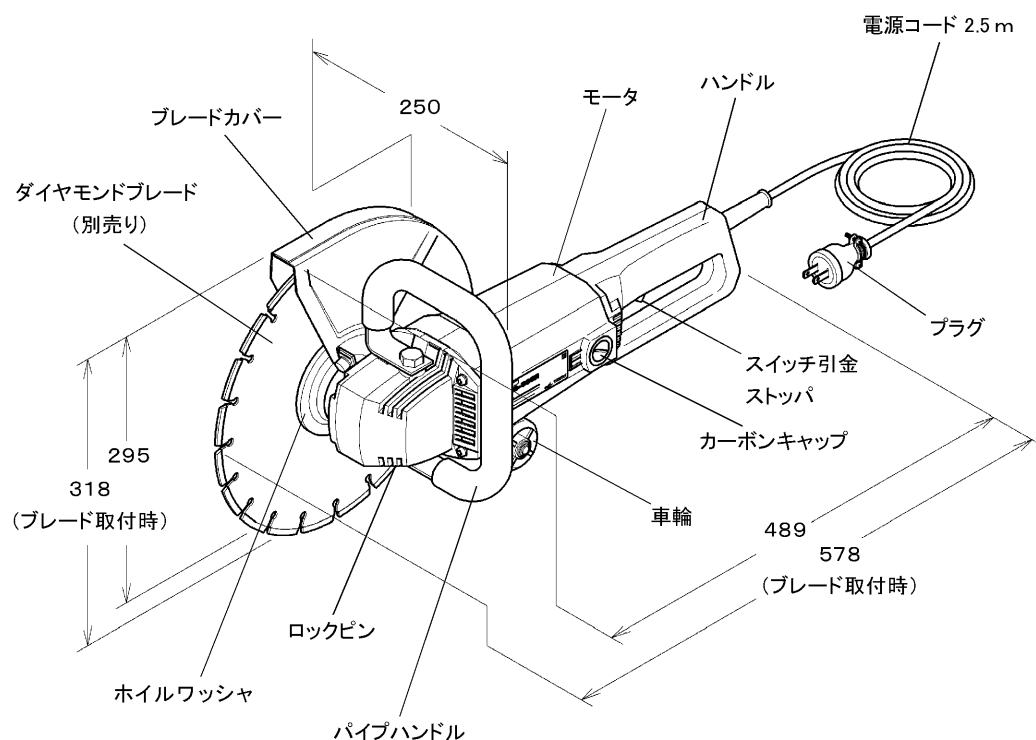
▲ 警告

14. モータ内部に水が入らないようにしてください。
- ◎ 雨中、濡れた場所で使用しないでください。
 - ◎ モータ内部に水が入ると絶縁性能が低下し、感電・破損の原因となります。

▲ 注意

1. ブレードが切削材料などに触れた状態で、スイッチを入れないでください。
 - ◎ ブレードや、ハンドカッターの破損の原因となります。
2. 切断作業は回転が上がってから行ってください。
 - ◎ 切断作業はスイッチをいれ、回転が完全に上がってから行ってください。
3. 切削途中でカッターの回転を止めたり、ブレードをロックさせたりしないでください。
 - ◎ ブレードや、ハンドカッターの破損の原因となります。
4. モータ部の風穴をふさがないでください。
 - ◎ モータの破損の原因となるので、風穴をふさいだり風穴から針金などの物を入れないでください。
5. 作業後は本体の手入れをしてください。
 - ◎ 作業後は本体に切り粉などが付着しています。本体の寿命を長く保つため、いつもきれいに清掃しておいてください。

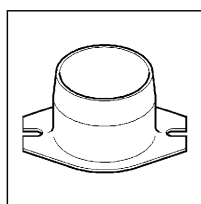
2. 各部の名称



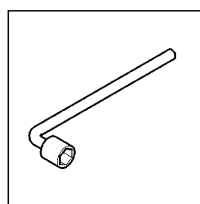
3. 仕様

型式名	CHC-305R
モーター	単相直巻整流子モーター
使用電源	単相交流 50/60Hz 電圧 100V
定格電流	15A
最大出力	2200W
消費電力	1900W
無負荷回転速度	3600min ⁻¹
最大ブレード呼径	305mm(12")
ブレード穴径	25.4mm
最大切込み深さ	100mm
質量(コード除く)	8.9kg

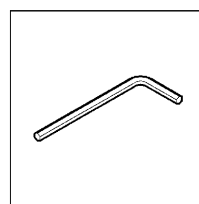
4. 標準付属品



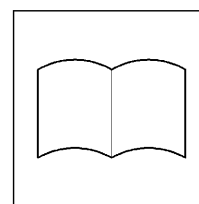
集塵ノズル
外径35mm
… 1ヶ



ボックススパナ
17mm
… 1ヶ



六角棒レンチ
6mm
… 1ヶ

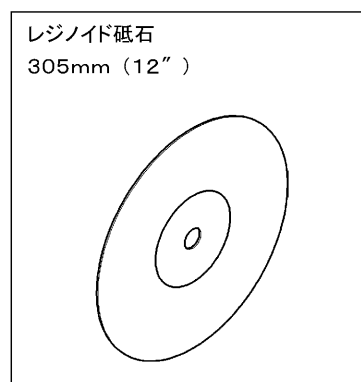
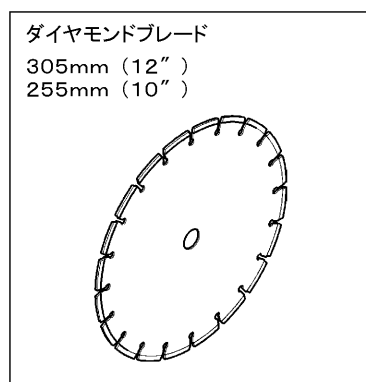


取扱説明書
… 1ヶ

5. 用途

- ◎ コンクリートの切断・すじつけ。
- ◎ 各種石材の切断・すじつけ。
- ◎ 各種タイルの切断・すじつけ。
- ◎ 各種レンガの切断・すじつけ。
- ◎ 各種アスファルトの切断・すじつけ。
- ◎ ラス（ラスシートなど）の切断。板厚0.2～0.6mm程度のもの。
- ◎ ヒューム管の切断。
- ◎ アンクル・鉄筋・アルミなどの切断（レジノイド砥石を使用）。

6. オプション品（別売）



金属用、非金属用
両面補強有

⚠ 注意

1. ブレードおよびレジノイド砥石は、必ず上記仕様の物をご使用ください。
2. セグメントタイプ（乾式用）ブレードおよびレジノイド砥石使用の場合は、水や研削液などをかけて使用しないでください。

7. 使用方法

⚠ 注意

レジノイド砥石も取扱説明書をよく読み、ブレードと同様の方法で使用してください。

【1】切り方

- 1) 切る材料の上に本体（車輪）を置き、ケガキ線とブレードを合わせます。
- 2) ブレードが切る材料に触れない状態でスイッチを入れます。
- 3) 切込みは車輪を支点として前方にたおせば切込めます。

○ スイッチについて

スイッチはスイッチ引金を引くと入り、そのままストップを押すと、スイッチ引金から指を離してもスイッチは入っており、連続運転に便利です。スイッチを切るときは、再びスイッチ引金を引きますとストップは、はずれます。

⚠ 警告

1. ブレードを、曲線切り、斜め切りに使用すると、ブレードが破損し、事故の原因となります。このような使い方は避けてください。
2. コードを、回転するブレードに接近させないでください。
3. 異常があった場合、そのまま使用しないでただちに作業を中止してください。
4. 作業が終わりましたら、プラグを電源から抜いてください。

【2】ブレードの取付け・取りはずし

⚠ 警告

1. ブレードの取付け・取りはずしときは、万一の事故を防止するために、必ずプラグを電源から抜いてください。
2. ブレードを取り扱うときは、手袋などを使用し、ケガのないように注意してください。
3. ブレードやレジノイド砥石にヒビ・ワレなどがあると大変危険です。ご使用前によく確認をして、その後、人のいない方向にブレードを向け、試運転を行って異常がないことを確かめてください。

試運転時間は

ブレード、レジノイド砥石交換後 3分以上
作業前 1分以上

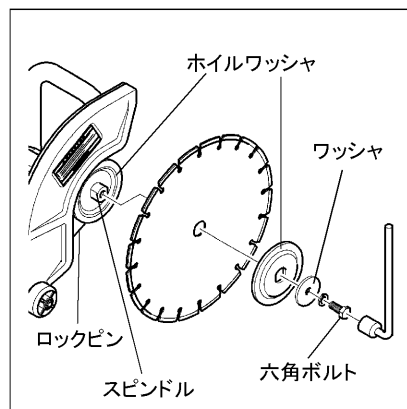
1. 取付け方法

- 1) 本体にあるロックピンを押し込んでスピンドルを固定し、六角ボルトをボックススパナにて時計方向にまわしてゆるめてください。

⚠ 注意

六角ボルトは左ねじになっています。回転方向に注意してください。

- 2) ワッシャおよびホイルワッシャを1枚スピンドルから抜き、2枚のホイルワッシャでブレードを挟むようにして、スピンドルに取付けてください。
- 3) ロックピンでスピンドルを固定し、六角ボルトをボックススパナでしっかり締付けてください。



⚠ 注意

六角ボルトは、必ずボックススパナを使用して、十分に締付けてください。

2. 取りはずし方法

- ◎ ブレードの取りはずしは、上記取付け方法と逆手順に行ってください。

【3】車輪の取付け・取りはずし

- ◎ 作業の都合上、車輪がついていては使用しづらい場合があります。そのときは車輪を取りはずして作業することができます。

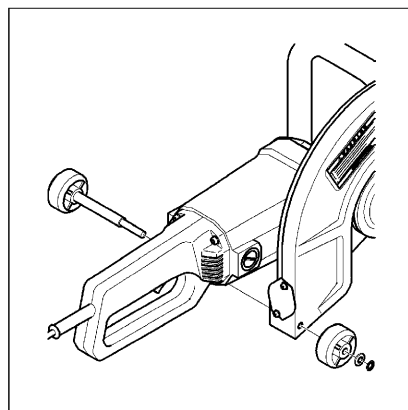
1. 取りはずし方法

- 1) ブレードカバーの外側に付いている車輪側の、車軸の先端の止め輪をはずしてください。

⚠ 注意

止め輪をはずすときに、止め輪をなくさないようにしてください。

- 2) 車輪を反対側に抜いてください。



2. 取付け方法

- ◎ 車輪の取付けは、上記取りはずし方法と逆手順に行ってください。

⚠ 注意

止め輪を確実に車軸の溝の中に入れてください。

【4】集じん作業の方法

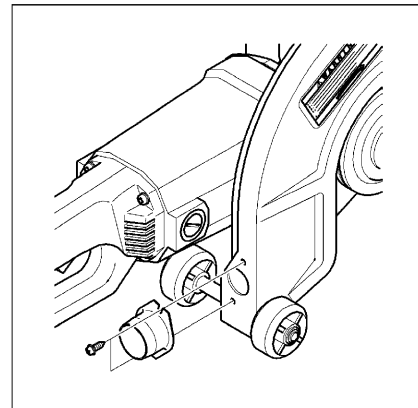
- ◎ ホコリを出しては困る現場では、付属の集じんノズルを取付け、バキュームクリーナーを接続すると、ホコリを吸い取ることができます。

⚠ 注意

集じんしながら作業する場合には、ハンドカッターを手前に引いて切断する、引き切りで作業を行ってください。前方に押しして切断する押し切りで作業すると、切断した溝から粉じんが飛散して集じんが困難な場合があります。

◎ 集じんノズルの取付け方法

- 1) ブレードカバー後方に付いているカバープレートを取りはずしてください。
- 2) 集じんノズルをブレードカバーに取付け、ねじをしっかりと締めて固定してください。
- 3) 集じんノズルに市販のバキュームクリーナーのホースを差込み、バンド等で締付けてください。



8. 点検・保守・修理

【1】点検

- ◎ ハンドカッター本体・ブレードに、亀裂・破損はないか、またコード被覆部・プラグに、亀裂・損傷はないか点検してください。
異常があった場合、最寄りの「販売店またはコンセック各営業所」にお問い合わせください。

【2】定期点検

1. カーボンブラシの点検・交換

1) 点検方法

- カーボンキャップをマイナスイライバー（2番）などではずし、カーボンブラシを取出してください。点検後は、カーボンキャップをしっかりと締付けてください。

2) 点検項目

- カーボンブラシの摩耗が大きくなると、モータ故障の原因となりますので、定期的に点検し、長さが摩耗限度線(6mm)くらいになりましたら、新品と交換してください。
- カーボンブラシはきれいにして、ブラシホルダー内で自由にすべるようにしておいてください。

⚠ 注意

当社指定のカーボンブラシを使用してください。

2. 各部取付けねじの点検

- ◎ 各部取付けねじのゆるみなどを定期的に点検し、ゆるんでいる所は締め直してください。
- ◎ ブレードカバーの取付けねじがゆるんでいる場合は、六角棒レンチ（6mm）にて締め直してください。

⚠ 注意

ゆるんだまま使用すると、事故などの原因となり危険ですので、必ず点検を行ってください。また、ゆるみなどのある機械は使用しないでください。

【3】保守

◎ 作業後は、清掃および保守を行ってください。

1) ハンドカッター本体表面のよごれ清掃

ハンドカッター本体の外枠は、ギヤケース部がアルミ製で、モータ部が強靱な合成樹脂製です。モータ部外枠に、ガソリン・シンナー・石油・灯油類を付着させると、表面を痛めます。

2) モータ部

使用後は、モータを無負荷運転させ、内部に風を送り、内部のゴミ・ほこりなどを排出してください。

3) ブレード

摩耗したブレードを使用されていると、切れ味が悪くなりモータに無理をかけることとなります。また、能率も低下しますので早めに新品と交換してください。

【4】修理について

◎ 本機は厳密な精度で製造されています。したがって、もし正常に作動しなくなった場合には、決してご自分で修理をしないで、最寄りの「販売店またはコンセック各営業所」にお問い合わせください。

◎ その他、取扱い上でご不明な点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

9. 製品の保管

製品や付属品の保管

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- ◇ お子様の手がとどいたり、簡単に持ち出せる場所
- ◇ 鍵のかからない場所
- ◇ 軒先など雨が降ったり、湿気のある場所
- ◇ 温度が急変する場所
- ◇ 直射日光のあたる場所
- ◇ 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

このような場所には保管しないでください。

本取扱説明書に記載されている商品の外観などの一部を予告なく変更している場合があります。



株式会社コンセック

本 社 〒733-0833 広島市西区商工センター4-6-8
TEL (082)277-5451 FAX (082)278-6389
第二事業本部 TEL (082)277-5452 FAX (082)278-6389

型式名	CHC-305R	検 印
製造番号		